

もりやま景況調査



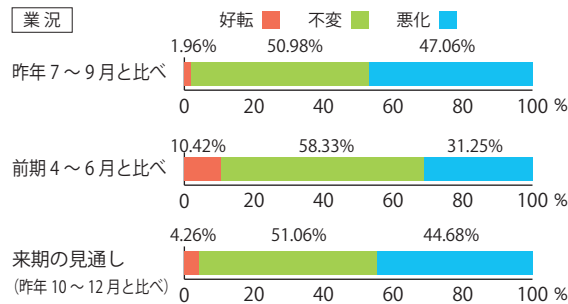
令和2年7月～9月期

※ DI (Diffusion Index(景気動向指数))…「増加」「好転」企業割合から「減少」「悪化」企業割合を差し引いた数値

DI 指数	30 以上	10 以上 30 未満	▲ 10 以上 10 未満	▲ 30 以上 ▲ 10 未満	▲ 30 未満
-------	-------	----------------	------------------	--------------------	---------

業況

前回調査 (令和2年4月～6月期) と比べてやや改善している。来期もやや改善の見通し。

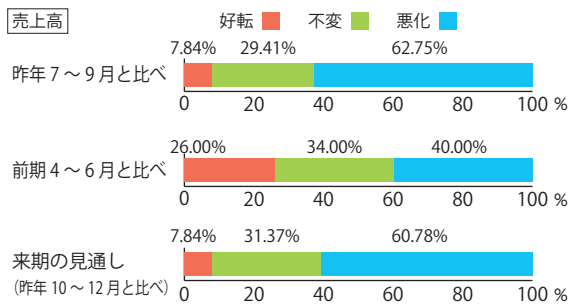


7～9月期動向 昨年同期との比較	全体	▲ 45.1	
	小売業	▲ 42.9	
	製造業	▲ 72.7	
	建設業	▲ 11.1	
	サービス業	▲ 53.8	
	卸売業	▲ 25.0	

※業況DI (好転－悪化) は今期が▲45.1で前回調査の▲51.9から6.8ポイントの改善
来期の見通しDI (好転見通し－悪化見通し) は▲40.4で、今期より4.7ポイントの改善の見通し

売上高

前回調査 (令和2年4月～6月期) と比べて悪化している。来期は改善の見通し。

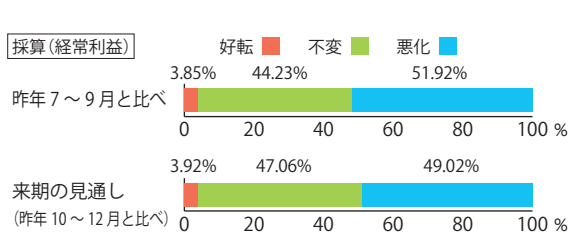


7～9月期動向 昨年同期との比較	全体	▲ 54.9	
	小売業	▲ 50.0	
	製造業	▲ 72.7	
	建設業	0	
	サービス業	▲ 84.6	
	卸売業	▲ 50.0	

※売上高DI (好転－悪化) は今期が▲54.9で前回調査の▲46.2から8.7ポイントの悪化
来期の見通しDI (好転見通し－悪化見通し) は▲52.9で、今期より2.0ポイントの改善の見通し

採算(経常利益)

前回調査 (令和2年4月～6月期) と比べてやや悪化している。来期はやや改善の見通し。



7～9月期動向 昨年同期との比較	全体	▲ 48.1	
	小売業	▲ 42.9	
	製造業	▲ 63.6	
	建設業	▲ 11.1	
	サービス業	▲ 64.3	
	卸売業	▲ 50.0	

※採算(経常利益) DI (好転－悪化) は今期が▲48.1で前回調査の▲46.2から1.9ポイントの悪化
来期の見通しDI (好転見通し－悪化見通し) は▲45.1で、今期より3.0ポイントの改善の見通し

コロナウイルスの影響などの意見

- ・まだまだ先が見通せない。
- ・売上に対して人件費率が上昇していて若干従業員が過剰気味だと感じるようになってきた。雇用調整助成金を活用しているが、特例措置が切れた後のことが心配。
- ・店も商店街も人の動きが少なく元気がない。GO-TO商店街でちょっとは動きが出るかと期待。

その他、調査結果の詳細については当会議所ホームページをご覧ください。

<http://www.moriyama-cci.or.jp/management/survey.html>